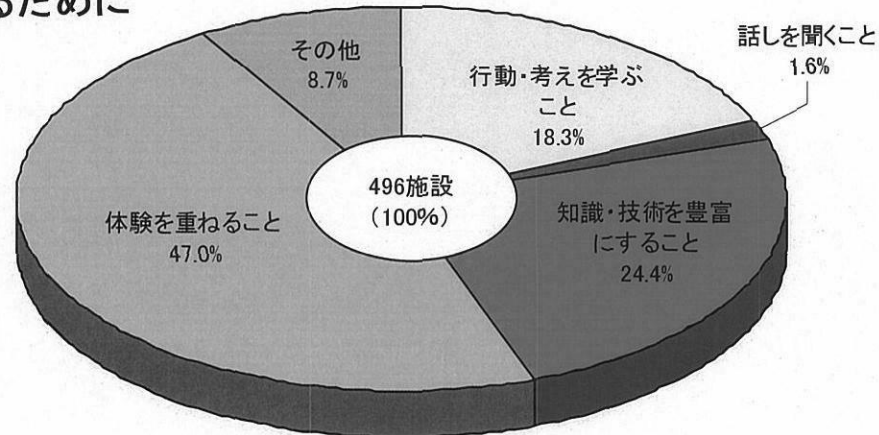


人と接する職業であり、人と接する場合に強く求められる「素直である」ことが高いウェイトを示し、そして常に「若さと向上心」を持って仕事に臨んでいることが評価を受けている。

「明るく元気である」、これは人に好感を与える大きな要素であり、これらのことから、高等学校福祉科卒業資格者の評価は高く、高等学校福祉科において福祉教育に意欲を持って臨んでいることが高く評価されているものと確信を強めている。

Ⅲ より良い介護福祉士になるために



Ⅲ. 社会経験が不足している高等学校福祉科（福祉コース）卒業の介護福祉士がより良い介護福祉士になるために今以上に望まれることは何ですか？

この問いは、「より良い介護福祉士」になるために今以上に望まれることを尋ねたものですが、まだ職務経験もなく社会経験も浅いゆえに、体験（経験）を重ねることを約半数の47%の施設から求められていることは当然のこととして領ける。

これは、本人の経験と努力を重ねることによって解決できるものであり、前記Ⅱで高等学校福祉科卒業資格者の良いところとして「向上心がある」について28.8%と約3割の高い率で認められていることから、充分解決できるものと考えられる。また、「知識・技術を豊富にすること」「行動・考えを学ぶこと」が求められており、福祉の職場に限らず、他の職場にも通ずるものであり、教育全般に亘る課題として受け止めている。

Ⅳ 望まれること

